

# 平成 19 年度（平成 20 年 3 月期）中間決算について

平成 19 年 10 月 31 日  
電源開発株式会社

## I. 概要

### ○連結決算

#### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
19 年 9 月中間期	296,929	( 7.2)	42,587	(△ 3.4)	40,437	( 8.5)	27,256	( 15.4)	163. 65
18 年 9 月中間期	277,007	( △9.3)	44,073	(△19.1)	37,261	(△2.5)	23,621	(△ 0.7)	141. 82
19 年 3 月期	573,277		77,141		55,513		35,167		211. 14

(注) パーセント表示は、対前年中間期増減率

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
19 年 9 月中間期	2,007,082		486,667		24.1	2,908. 09
18 年 9 月中間期	1,980,674		449,527		22.6	2,692. 87
19 年 3 月期	1,999,794		462,654		23.1	2,768. 95

### ○個別決算

#### (1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
19 年 9 月中間期	270,640	( 6.7)	38,516	( 3.2)	29,985	(△2.0)	20,237	( 0.7)	121. 51
18 年 9 月中間期	253,571	(△10.3)	37,309	(△23.4)	30,582	(△7.3)	20,096	( △5.9)	120. 65
19 年 3 月期	517,273		60,840		37,540		23,897		143. 48

(注) パーセント表示は、対前年中間期増減率

#### (2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
19 年 9 月中間期	1,911,318		425,363		22.3	2,553. 89
18 年 9 月中間期	1,879,001		412,753		22.0	2,478. 11
19 年 3 月期	1,893,678		411,789		21.7	2,472. 38

## II. 経営成績及び財政状態

### 1. 経営成績

#### (1) 収益

収益面では、電気事業において、当社単独の販売電力料収入が、前年同期に比べ水力は渇水、平成19年9月からの水力・託送契約の料金改定等による減収がありましたが、火力の高稼働により、連結の売上高（営業収益）は前年同期に対し7.2%増加の2,969億円となり、営業外収益はスペイン風力会社の売却や海外発電事業などによる持分法投資利益の大幅な増加等により前年同期に対し116.7%増加の122億円となったことから、経常収益は同9.4%増加の3,091億円となりました。

当社単独の売上高（営業収益）は2,706億円、経常収益は2,751億円となりました。

#### (2) 費用

費用面では、電気事業において、火力の定期点検の減少による修繕費の減少及び減価償却費の減少等がありましたが、火力の高稼働並びに石炭価格の上昇による燃料費の増加等により、連結の営業費用は前年同期に対し9.2%増加の2,543億円となりました。これに営業外費用を加えた連結の経常費用は同9.5%増加の2,687億円となりました。

当社単独の営業費用は2,321億円、経常費用は2,451億円となりました。

#### (3) 利益

以上の結果、連結の経常利益は前年同期に対し8.5%増加の404億円、中間純利益は、渇水による渇水準備引当金の取崩し等を行なった結果、同15.4%増加の273億円となり、当社単独の経常利益は300億円、中間純利益は202億円となっております。

#### (4) 配当

当中間配当額は、1株につき30円とさせていただきます。

### 2. 財政状態

#### (1) 資産の部

資産については、固定資産は、磯子新2号機及び大間原子力関連工事等への設備投資等がありましたが、減価償却進行による減少等により、前期末から190億円減少し1兆8,429億円となりました。これに流動資産を加えた総資産は、前期末から73億円増加し2兆71億円となりました。

#### (2) 負債の部

負債については、借入金の返済等により前期末から167億円減少し当中間期末の負債総額は、1兆5,204億円となりました。有利子負債残高についても、前期末から152億円減少し、当中間期末は1兆4,063億円となりました。

#### (3) 純資産の部

純資産合計は、前期末から240億円増加の4,867億円となり、自己資本比率が前期末の23.1%から24.1%になっております。

平成20年3月期 中間連結決算収支比較表

平成19年 4月 1日から  
平成19年 9月30日まで

(単位：百万円)

項 目	当中間連結会計期間 (A)	前中間連結会計期間 (B)	対前年同期比	
			増 減 (A-B)	(A/B) %
営 業 収 益	296,929	277,007	19,921	107.2%
電 気 事 業 営 業 収 益	273,536	257,925	15,610	106.1%
他 社 販 売 電 力 料	245,693	229,571	16,122	107.0%
卸 電 気 事 業	237,494	221,512	15,981	107.2%
(水 力)	62,578	66,775	△ 4,196	93.7%
(火 力)	174,915	154,736	20,178	113.0%
その他の電気事業	8,199	8,059	140	101.7%
託 送 収 益	27,161	27,592	△ 430	98.4%
そ の 他	680	761	△ 80	89.4%
そ の 他 事 業 営 業 収 益	23,393	19,082	4,310	122.6%
取 営 業 外 収 益	12,245	5,649	6,595	216.7%
受 取 配 当 金	1,159	900	259	128.8%
受 取 利 息	586	416	170	140.9%
有 価 証 券 売 却 益	4,227	—	4,227	—
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	5,384	2,239	3,144	240.4%
そ の 他	887	2,093	△ 1,205	42.4%
中 間 経 常 収 益 合 計	309,174	282,657	26,517	109.4%
経 営 費 用	254,342	232,933	21,408	109.2%
電 気 事 業 営 業 費 用	229,141	211,603	17,537	108.3%
人 件 費	15,265	14,139	1,125	108.0%
燃 料 費	93,586	67,746	25,840	138.1%
修 繕 費	15,358	22,424	△ 7,066	68.5%
委 託 費	13,924	14,426	△ 502	96.5%
租 税 公 課	13,997	14,240	△ 242	98.3%
減 価 償 却 費	54,812	58,908	△ 4,096	93.0%
そ の 他	22,196	19,716	2,479	112.6%
その他事業営業費用	25,201	21,330	3,870	118.1%
営 業 外 費 用	14,395	12,461	1,933	115.5%
支 払 利 息	11,650	11,023	626	105.7%
そ の 他	2,744	1,438	1,306	190.8%
中 間 経 常 費 用 合 計	268,737	245,395	23,341	109.5%
中 間 経 常 利 益	40,437	37,261	3,176	108.5%
湯 水 準 備 金 引 当 又 は 湯 水 準 備 引 当 金 取 崩 し ( △ )	△ 408	487	△ 895	—
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	40,845	36,774	4,071	111.1%
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	11,445	10,794	651	106.0%
法 人 税 等 調 整 額	2,182	2,671	△ 488	81.7%
少 数 株 主 損 失	△ 38	△ 312	273	—
中 間 純 利 益	27,256	23,621	3,635	115.4%

(注) 百万円未満を切捨てて表示しています。

### Ⅲ. 通期の業績予想

販売電力量は、水力は前期に対して16.6%減少の89億kWh、火力は前期に対して9.1%増加の524億kWhになるものと見通しを立てております。

売上高については、水力の渇水並びに水力・託送料金の改定の影響はあるものの、火力の高稼働等により、連結では前期に対して2.7%増加の5,890億円、当社単独では前期に対して2.5%増加の5,300億円になるものと見込んでおり、経常利益については、海外事業における増収等はあるものの、当期の渇水の影響並びに石炭価格の上昇による燃料費の増加等により、連結では前期に対して6.3%減少の520億円、当社単独では前期に対して12.1%減少の330億円となる見通しです。

以上の見通しを踏まえ、通期の業績予想については、平成19年5月に公表した予想値を以下のとおり修正いたしました。

#### [連結]

	今回修正予想	前回予想
売上高	5,890億円	5,680億円
営業利益	620億円	710億円
経常利益	520億円	550億円
当期純利益	340億円	370億円

#### [個別]

	今回修正予想	前回予想
売上高	5,300億円	5,090億円
営業利益	510億円	620億円
経常利益	330億円	400億円
当期純利益	220億円	260億円

#### [主要諸元]

	今回修正予想	前回予想
販売電力量(水力) (億kWh)	89	97
販売電力量(火力) (億kWh)	524	482
水力出水率 (%)	89	100
火力設備利用率 (%)	81	75